

令和2年度 第1回白馬村総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和2年5月12日(火)
開会 午後 4時00分 閉会 午後 5時15分
- 2 会 場 白馬村役場2階 庁議室
- 3 出席者 白馬村長 下川 正剛
白馬村教育委員会
教育長 平林 豊
職務代理 幅下 守
委 員 西澤みどり
委 員 田口 令子

(説明等のために出席した職員)

総務課長

吉田 久夫

(事務局)

生涯学習スポーツ課長

関口 久人

教育課長

横川 辰彦

教育係長

鈴木 広章

- 4 協議事項 (1) 教育大綱について
(2) 白馬村立学校の ICT 教育環境の整備について

5 議事の概要

○開 会

教育課長が開会を宣言した。

○あいさつ (下川村長)

皆様、本日はご多忙の中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本年度第1回の総合教育会議を開催させていただきます。

今回は教育大綱について、また、白馬村立学校の ICT 環境整備についての2つを協議したいと存じます。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、村と教育委員会が意思疎通をはかることで、一層の効果的な教育行政の推進へとつなげていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

○協 議 （議長は下川村長）

(1) 教育大綱について

- ・教育課長が、会議資料により説明した。
- ・議長が、教育大綱についての発言を求めた。第5次総合計画を基本計画としており、多様であることから交流し学び合い成長する村を実現するために目標を掲げている。委員の皆様から意見をいただきたい。
- ・教育長職務代理者 4頁の生きる力を育み子どもの夢をかなえる学校教育の充実の1) 確かな学びと自律性を育む教育の充実の部分で、自律性を引き出した理由を知りたい。
- ・教育課長 自律性という部分は、総合計画のICTの分野になるが、ICTの導入し活用することで、自律性を高めると記載されている。
- ・教育長職務代理者 総合計画には、確かな学びの中に学力向上委員会による横断的・具体的な検討をすとしてしているが、私個人としては、人との関わり合い、互いに学び合うことから主体的な学びを大事にしたい。
- ・教育課長 総合計画には思考力・判断力を重視し、と記載されており、その部分が抜けているので、記載してはどうか。
- ・教育長職務代理者 そこが一番重要な部分だと考えている。
- ・教育課長 表記を自律性ではなく、豊かな人間性と表記したらどうだろうか。協働的、対話的な学びを充実させて、豊かな人間性を育むという表記にしたい。
- ・教育長職務代理者 対話的な学びは新学習指導要領の目標の一部でしかない。教育大綱では、確かな学び、豊かな人間性を大きな項目として、他の計画の中で詳細を記したらどうか。
- ・総務課長 確かな学び、豊かな人間性と記載して、総合計画の中でその内容を記したら良いのではないか。
- ・議長 委員の皆様、他にご意見、質問はありますか。
- ・西澤委員 (1)～(4)の中に地域を担う人材の育成とあるが具体的にはどんなことか。
- ・教育課長 白馬高校支援の内容で、人材育成・キャリア教育等の記載がされている。
- ・西澤委員 義務教育とは離れるが良いのか。
- ・教育課長 教育全般の記載をしているので、ご理解いただきたい。
- ・西澤委員 他の項目の地域の教育機能の活用と、安心・安全で充実した教育環境の整備はそれぞれどんな内容か。
- ・教育課長 総合計画の記載では、地域の教育機能の活用は、信州型コミュニティスクールへの移行と学習支援・学習ボランティアを。安心・安全な教育環境では、学校の耐震化と長寿命化について記載されている。
- ・西澤委員 ICTについては記載されていないか。
- ・教育課長 1)の確かな学びと自律性を育む教育の充実の中で、情報端末の活用が謳われている。
- ・教育長職務代理者 心を豊かにする生涯を通じた学びの推進のなかの2)の図書館

の充実は、1) の学びを支える生涯学習の推進に含まれる。図書館の充実は白馬村の施策の重要項目であるが、人権教育の推進と並列して並ぶべき項目で良いか。

- ・総務課長 体裁を基本方針と推進施策として、1) ～4) を推進施策として、その後説明文を記載したらどうか。
- ・議長 そのように体裁を変更したらどうか。幅下教育長職務代理者どうか。
- ・教育長職務代理者 説明文がある部分と無い部分があるが、それで良いと思う。
- ・議長 他にご意見はないでしょうか。学校について適正規模・適正配置を今年度から検討していく。以前からそのように進めてきたが、早急に進められず、今後10年程度の時間が必要になると思うが、学校についてはそういった方向性で良いか。
- ・教育長 コロナ感染症拡大防止により、現在会議の開催を控えている状況だが、感染拡大が落ち着いてくれば、議論を進める。
- ・議長 それでは、教育大綱については体裁を整えて作成することとする。

(2) 白馬村立学校の ICT 教育環境の整備について

- ・教育係長が、会議資料により説明した。
- ・議長が、村立学校の ICT 教育環境の整備の発言を求めた。全学年に整備となっているのだが、小学校低学年に情報端末を整備して使いこなせるものか。
- ・教育長職務代理者 5・6年生は使いこなせると感じている。個人的には小学校においては、1人に1台の情報端末より電子黒板の方が有効だと感じていた。しかし今回の感染症により、家庭学習の充実が叫ばれている。中学校で双方向のオンライン学習が実施されていることもあり、小学校で何故実施しないのかという話にならないだろうか。

確かに低学年では使いこなすのは難しいだろうが、日常的に学校で使用していれば、使いこなすようになると思う。

- ・議長 今回の学校の臨時休業では地方の一村でオンライン学習を行えているような学校は非常に稀だと聞いている。概算で4千万円の村負担があるが、補助申請せざるを得ないか。4千万円のうち、交付税措置・起債等はどうなるのか。
- ・教育課長 4千万円のうち起債充当は100%で、約75%が交付税算定される。
- ・総務課長 しかし、前回のLAN整備補助金のように減額がされると思う。
- ・教育長職務代理者 近隣市町村の整備状況はどうなるか。大北中で整備したとき、白馬村だけが未整備で良いものか。
- ・総務課長 全国で一律に行うとなれば、通信線や端末が物理的に納入可能か、工事業者が年度内に施工可能かとの問題もある。年度内に行えなければ翌債承認を得て実施することになる。補助金の減額については、今後担当課と協議する。
- ・議長 今回の感染症により情報端末の利用率がより高まったが、これまでの中学校での利用形態はどうだったのか。
- ・教育課長 これまでの利用形態が、この機会に大きく変わる。変化に見合った整備を進めたい。

- ・西澤委員 情報端末の利用方法については、端末に電子教科書も全てインストールされ、家庭でも利用可能と考えていたが、家庭利用は認められていなかった。今回、小学生は保護者が家に居なくても、オンライン学習を直ぐに利用できるかは疑問だが、うまく活用して欲しい。また、家のインターネット環境が整っていない家庭もあるので、白馬村全体でインターネット環境の構築を考えて欲しい。
- ・議長 教育長はどうか。
- ・教育長 情報端末を整備して、家庭学習へうまく利用したい。指導員の配置も重要になる。
- ・教育長職務代理者 指導員は教員免許を所有し、担任と一緒に授業内容を構築できるような人材を配置出来れば、早いペースで ICT 教育が深められる。
- ・議長 何れにせよ、補助金交付申請は行い、予算については総務課と教育課で協議して事業を進めること。

○その他

無し

○閉 会

- ・教育課長が閉会を宣言した。